

統合後の学校名の評価

項目	評価の観点	統合後の学校名	期待される事項	懸念される事項	判定
イメージ効果	・新鮮さ ・児童・生徒のモチベーション ・歴史や伝統の継承	新しい校名	○新校としてアピール・イメージ化が容易 ○新たなスタートとしてのモチベーションアップ	○吉永地区の生徒のモチベーション低下 ○統合前の学校の歴史や伝統の継承が課題	○
		吉永中学校	○自然な融合というイメージ ○歴史や伝統を継承する意識・イメージ	○統合前の学校のイメージ ○新鮮さや児童・生徒のモチベーションアップは限定的 ○三石中の歴史や伝統の継承が課題	
		三石中学校	○歴史や伝統を継承する意識・イメージ	○統合前の学校のイメージ ○不自然なイメージ ○新鮮さや児童・生徒のモチベーションアップは限定的 ○吉永中の歴史や伝統の継承が課題	
市民意識	・市民の理解・納得	新しい校名	○新しい学校のスタートとして理解・納得	○校名変更に対する吉永の理解・納得	
		吉永中学校	○市民全体としては理解・納得 ○吉永中学校の校舎を使用する面で理解・納得 ○学校名と所在地が一致しており違和感なく理解・納得	○既存の校名に対する三石の理解・納得	○
		三石中学校		○学校名と所在地が一致せず、違和感があり理解・納得は困難	
学校運営	・統合に要する時間 ・教育活動への影響 ・児童・生徒への影響	新しい校名	○生徒の心理面からくる中学校生活への期待	○校名の変更の合意形成のための時間がかかりスケジュールが不透明 ○統合時期の目途が立たないことにより、統合の本質的な目的を達成するために 行う教育活動、教員人事、児童生徒への影響が大きい。統合に伴う関連費用の 予算計上等が困難 ○生徒の心理面からくる中学校生活への不安	
		吉永中学校	○統合が計画通りにスムーズに進む可能性が高い ○子どもたちが統合のメリットを早期に享受することができる ○統合時期の見通しが持て、教員配置を計画的に行うことができる。また 進学についての予定が立ち、児童・生徒の安心につながる ○部会で協議している教育活動とタイムスケジュールを合わせることができる ○統合メリットを生かすための教育活動、教育の質的向上に注力できる ○生徒の心理面からくる中学校生活への期待	○生徒の心理面からくる中学校生活への不安	○
		三石中学校	○生徒の心理面からくる中学校生活への期待	○校名の変更の合意形成のための時間がかかりスケジュールが不透明 ○統合時期の目途が立たないことにより、統合の本質的な目的を達成するために 行う教育活動、教員人事、児童生徒への影響が大きい。統合に伴う関連費用の 予算計上等が困難 ○生徒の心理面からくる中学校生活への不安	
行政コスト	・経費等の行政コスト	新しい校名		○表示を変更するコストや各種関連する費用等が発生する	
		吉永中学校	○表示を変更するコストは発生しない。関連する費用等は基本的には最小である		○
		三石中学校		○表示を変更するコストや、各種関連する費用等が発生する	

【評価結果】 「吉永中学校」とすることが最も高く評価される。

【提案】 名称は「備前市立吉永中学校」（「吉永中学校」「三石中学校」は閉校し、新生の「吉永中学校」として新たなスタートをする。）

【評価重点】 教育委員会で、最も重視した項目は、学校運営であり、中学生の健全な成長を促す環境をスムーズに整えていくための評価の視点として、統合に要する時間、教育活動、児童生徒への影響とした。

【評価方法】 教育委員会において11名の評価員による各項目ごとの点数評価を行った。